



火の用心

特集

住宅用火災警報器設置率調査

中面

平成23年統計データ（速報）

お願い申し上げます。

一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

どの業務にあたっています。

本年も、皆さまの生活の基盤であります「安全で安心して暮らせるまちづくり」のため職員が一丸となって取り組んで参りますので、皆さま方のより

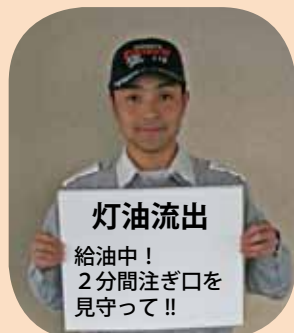
すことに厚くお礼申し上げます。
さて、近年の消防を取り巻く環境は、東日本大震災などに代表される自然災害の大規模化、更には、今回の地震により発生した原子力発電所の事故による放射性物質の漏えいなど予想しがた

ことと心からお慶び申し上げます。
また、平素から消防行政の推進に格別のご支援ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

消防長
山田真一



安全で安心して暮らせるまちづくり



灯油流出
給油中！
2分間注ぎ口を見守って！！



川への転落
雪に覆われた川・側溝に注意しましょう

豪雪地帯である当地域…



2方向避難
避難口を2つ以上確保しましょう

雪国の防災

冬は見えない危険がいっぱい！

毎年雪が関係する事故が多く発生します。このようなことに注意しましょう。



住警器設置
住宅用火災警報器を設置しましょう



屋根除雪
除雪中の転落・転倒に注意しましょう



水利除雪
降雪時、水利除雪にご協力ください

おしつせん
うちは
設置したの？



【特集】

住宅用火災警報器設置率調査

平成23年の秋季火災予防運動期間中、前回の調査に引き続き、消防団の協力を得て十日町市と津南町の全戸23,702世帯を対象に住宅火災警報器の設置率調査を行いました。この結果を皆さんにお知らせします。

※不在世帯は設置率調査ができなかったため、昨年の調査と比べて設置率が下がっている集落があります。ご了承ください。

十日町市 82%

十日町地域 80%

十日町地区

本町1丁目上	78%
本町1丁目下	70%
本町東1丁目	91%
本町西1丁目	67%
本町2丁目	100%
本町3丁目	67%
本町4丁目	75%
本町5丁目	82%
本町6丁目1・3	72%
本町6丁目2	96%
袋町東	100%
袋町中	76%
袋町西	95%
十日町栄町	82%
寿町4丁目	97%
高田町1丁目	75%
高田町2丁目	76%
高田町3丁目東・西	78%
高田町3丁目南	79%
丸山町	83%
昭和町1丁目	77%
昭和町2丁目	90%
昭和町3丁目	74%
昭和町4丁目	100%
西寺町	71%
七軒町	81%
泉町	74%
加賀糸屋町	75%
関口樋口町	90%
駅通り	70%
西浦町東	97%
西浦町西	89%
稲荷町1丁目	74%
稲荷町2丁目	80%
稲荷町3丁目本通り	82%
稲荷町3丁目東	71%
稲荷町3丁目南	94%
稲荷町3丁目北	84%
稲荷町4丁目	95%
稲荷町西	72%
西本町1丁目	90%
西本町2丁目	67%
西本町3丁目	72%
千代田町	78%
八幡田町	85%
下川原町	82%
宮下町東	91%
宮下町西	91%
諏訪町	85%
神明町	80%
学校町1丁目	87%
学校町2丁目	65%
水野町	82%
若宮町	81%
田中町東	92%
田中町西	100%
田中町本通り	81%
川原町	82%

上川町	80%
田川町1丁目	90%
田川町2丁目	90%
田川町3丁目	89%
島	75%
江道	81%
猿倉	69%
津池	71%
菅沼	100%
大池	40%
十日町赤倉	100%

中条地区

新座第1	73%
新座第2	73%
新座第3	63%
新座第4の1・2	75%
本町7丁目1	89%
本町7丁目2	78%
三和町	96%
四日町新田第1	90%
四日町新田第2	95%
四日町新田第3・4	78%
南新田町1丁目	97%
南新田町2丁目	84%
南新田町3丁目	81%
四日町中原	82%
四日町第1	88%
四日町第2	86%
四日町第3	91%
四日町第4	86%
尾崎	90%
五軒新田	89%
太子堂	63%
塚田	70%
中条八幡	74%
上原	83%
上原新町	80%
中条上町	93%
旭ヶ丘	70%
中町	68%
背戸	68%
下町	66%
中条旭町	77%
中条島	85%
中条峠	100%
梅沢	92%
中条新田	92%
北原	89%
市之沢	53%
嘉勝	100%
轟木	100%
焼野	92%
魚之田川	100%
新水	98%
宇田ヶ沢	100%
中条菅沼	100%
山新田	100%
東枯木又	100%
西枯木又	100%
蕨平	100%
三ツ山	未調査
上田原	100%
池谷	100%

川治地区

川治上町第1	69%
--------	-----

川治上町第2	72%
川治中町	85%
川治内後第1	73%
川治内後第2	75%
川治下町第1	72%
川治下町第2	74%
川治下町第3	62%
妻有町東1丁目	74%
妻有町西1・2丁目	58%
谷内丑第1	84%
谷内丑第2	76%
北新田第1～3	70%
城之古第1～3東町	75%
塚原町	26%
高山第2～4	84%
錦町1・2丁目	86%
美雪町1～2丁目	84%
美雪町3丁目	78%
桜木町	65%
春日町1丁目	65%
春日町2丁目	71%
春日町3丁目	68%
高田町4～6丁目	73%
山本町1丁目	84%
山本町2丁目	76%
山本町3・4丁目	76%
山本町5丁目	83%
千歳町1丁目	93%
千歳町2・3丁目	73%
寿町1～3丁目	86%
河内町	88%
関根第1・2	68%
浅之平	81%
笹之沢	88%
落之水	91%
池之平	88%
孕石	90%
長里	71%
椋木	54%

六箇地区

中村	64%
六箇山谷	68%
麻畑	67%
田麦	81%
二ツ屋	50%
船坂	89%
塩ノ又	89%

吉田地区

稲葉	89%
吉田山谷	78%
小泉第1～3	86%
樽沢	84%
北鏡坂第1～3	82%
南鏡坂	80%
高島第1	76%
高島第2	70%
鉢第1・2	93%
中手	100%
中平	100%

名ヶ山	84%
下条地区	
上新田第1	71%
上新田第2	76%
上新田第3	84%
上新田第4	86%
山際	95%
原	69%
廿日城	100%
岩野	91%
下条栄町	77%
下条中央通り	80%
桑原	78%
野田	92%
蟹沢	100%
為永	85%
下条本町	83%
山根	79%
貝ノ川	72%
新保	79%
水口	77%
下条下山	78%
新光寺	93%
仙之山	64%
平	92%
渡野	92%
二子	6%
願入	75%
塩野	100%

水沢地区

水沢第1～3	64%
馬場第1	60%
馬場第2	70%
馬場第3	71%
馬場第4	65%
太田島第1～3	75%
土市第1	85%
土市第2	79%
土市第3	85%
土市第4	87%
土市第5	90%
新宮第1・2	100%
伊達第1～4	77%
大黒沢第1～3、東	82%
小黒沢	77%
天池	100%
細尾	100%
池ノ尻	100%
漆島	100%
池沢	92%
野中	100%
鍬柄沢	100%
当間	83%
大石	76%
南雲	100%
中在家	75%
水沢市ノ沢	68%
珠川	92%
姿第1	79%
姿第2	67%
安養寺	100%
幸町	62%

越手	79%
寺石	75%
足滝	79%
穴山	90%
上野	63%
田中	100%

芦ヶ崎地区

城原1区	58%
相吉2～6区	71%
岡7・8区	55%
谷内7ア-ムイツ	100%
谷内9～11区	80%
赤沢12～20区	73%
反里21区	82%
小下里22区	74%
高齢者住宅	100%
リバーサイド信濃	50%
芦ヶ崎23～27区	73%
段野団地	47%

秋成地区

秋成・石坂28区	75%
反里口	70%
太田新田	100%
見玉	63%
穴藤	75%
見倉・清水川原	86%
逆巻	100%
結束	64%
前倉	100%
大赤沢	74%
大谷内	100%

中深見地区

中深見第1・2	62%
船山第1～8	87%
船山新田	85%
所平	82%
大場	46%
源内山	89%
堂平	100%
豊郷	71%
津原	100%
美穂	100%

津南町 74%

下船渡地区

下船渡本村	43%
上段	73%
十二ノ木1～5区	75%
卯ノ木	80%
駒返り	71%
正面1～3区	64%
正面住宅団地	100%
割野1～5区	86%
陣場下1～5区	72%
大割野1～6区	62%
大船団地	100%
貝坂	60%
朴ノ木坂	57%
越渡	50%
米原	74%
美雪町	78%

外丸地区

押付	62%
小島	74%
巻下	41%
外丸1～4区	100%
辰ノ口	70%
鹿渡	82%
鹿渡新田	100%

上郷地区

大井平	73%
亀岡	69%
今井	36%
灰雨	50%
中子	81%
子種	100%
逆巻	80%
宮野原	74%
朴木沢	77%
小池	71%
下加用	67%
上加用	67%
百ノ木	50%
出浦	100%
羽倉	62%

芋島 100%

山平地区

田野倉	100%
仙納	100%
筋平	95%
寺田	100%
名平	100%
蒲生	97%
儀明	88%

奴奈川地区

福島	78%
奈良立	100%
室野	97%
竹所	86%
星峠	100%
木和田原	82%

松之山地域 92%

松之山地区

松之山	90%
兎口	100%
光間	100%
新山	73%
水梨	91%
小谷	100%
大荒戸	100%
下川手	98%
上川手	83%
湯山	93%
湯本	95%
天水越	95%
天水島	89%
藤倉	91%
中尾	100%
東川	96%
上鰈池	100%
下鰈池	91%
五十子平	100%
坪野	100%
松之山赤倉	100%
松之山東山	100%
黒倉	83%

浦田地区

藤原	100%
曾根	88%
新田	100%
上之山	100%
湯之島	100%
中立山・中原	100%
田麦立	100%
月池	50%
坂中	50%
豊田	77%
北浦田	100%
西之前	88%

豊里	100%
桂	79%
上山	86%
田中	85%
小原	83%
干溝	90%
荒屋	82%
山崎	85%
桔梗原	63%
通り山	87%
高道山	75%
朴木沢	93%
宮沢	100%
市之越	89%
鷹羽	50%
白羽毛	96%
程島	94%
東田尻	90%
角間	75%
律沢	88%
土倉	82%
倉下	80%

倉俣地区

小出	97%
西田尻、西方	75%
芋川新田	55%
芋川	78%
倉俣	91%
原町	100%
新里	43%
重地	68%
清田山	100%
中里下山	83%

田代地区

田代	83%
----	-----

貝野地区

新屋敷	93%
本屋敷	94%
堀之内	70%
宮中	96%

松代地域 91%

松代地区

松代	88%
小荒戸	100%
太平	80%
菅刈	100%
松代田沢	100%
小屋丸	100%
池之畑	90%
松代下山	100%
千年・青葉	83%
池尻	100%
会沢	92%
清水	92%
桐山	71%
蓬平	93%
松代東山	100%
海老	89%
犬伏	85%
孟地	100%
片桐山	100%
滝沢	100%
中子	0%

川西地域 84%

千手地区

中島町	85%
山野田	96%
発電所通り西	70%
発電所通り東	76%
南台	63%
千手栄町	70%
朝日町	76%
四郎兼	84%
東善寺	78%
千手上町	96%
中央町	100%
田中町	82%
神社町	50%
学校町	61%
中屋敷	60%
寺尾	85%
美咲町	81%
木島	69%
沖立	83%
伊友	82%
高原田	83%
坪山	83%
霜条	80%
鶴吉	100%

上野地区

上野	86%
みのり団地	100%
元町	88%
新町新田	78%
下平新田	82%
三領	83%
小根岸	100%

橘地区

木落	99%
寺ヶ崎	100%
塩辛	100%
仁田	90%
野口	88%
四十歩	100%
原田	77%
根深	95%
下原	93%

仙田地区

中仙田	93%
室島	81%
小脇	100%
高倉	86%
田戸	100%
赤谷	87%
岩瀬、大倉	93%
大白倉	85%
小白倉	93%

中里地域 84%

田沢地区

芋沢	85%
田沢本村	70%
東田沢	100%
如来寺	85%

▼住警器設置義務化を目前に集落単位で共同購入をした集落があり、前年同時期の調査に比べ設置率が30%上昇しました。

▼住警器を設置していただくことで、早期発見による火災の未然防止、被害が軽減した事例が報告されています。まだ設置していない住宅については、必要性を十分に理解しましょう。

火災の早期発見が大切な命を守ります。

十日町地域消防本部予防課

火災 Fire

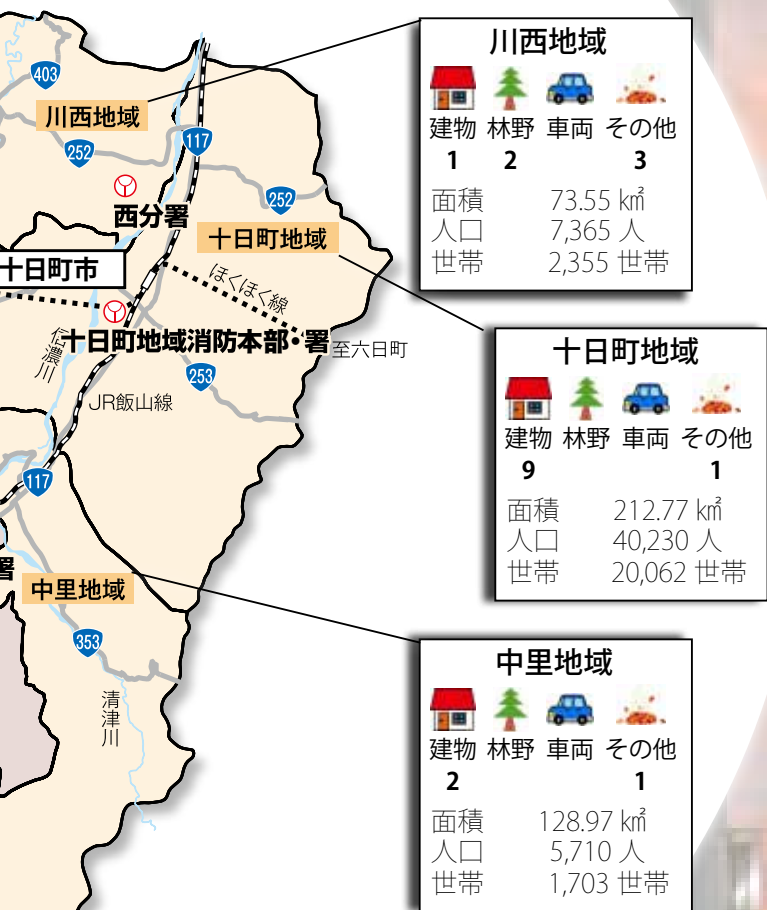
災発生状況

() 内の数は平成 22 年の数値

計	焼損棟数				死傷者数	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
26	7		13	6	1	7
21	4		12	5		7
1			1			
2	2				1	
1				1		
1	1					
3				3		
29	7	0	13	9	1	7
(20)	(3)	(2)	(5)	(10)	(2)	(9)

火災発生状況分布図

面積、人口、世帯数は 12 月 1 日数値



火災件数 28 件!

建物火災による死者なし 住警器の効果あり

平成 23 年中の十日町市・津南町の火災件数は 28 件で、過去 5 年間の平均件数と比較すると 5 件の減少となっています。しかし、前年と比較して 4 件増（建物火災は 5 件増）となりましたが、建物火災による死者はありませんでした。

平成 23 年 6 月 1 日から設置が義務化された住宅用火災警報器（以下住警器）は、住宅火災による犠牲者を減らす「切り札」と捉え、

各種イベントや住宅防火などで設置促進に努めてきました。平成 22 年 11 月調査では設置率 51% でしたが、23 年の同時期の調査では 80% を越える数値となりました。この効果もあり、住警器を設置していたことにより、火災に至らなかったケース、被害が最小限にとどまった事案が報告されています。

今後、住警器設置 100% を目標とし、「住宅火災による犠牲者ゼロ」を目指します。

過去 5 ヶ年死者数

年	死者数	建物火災による死者数
平成 19 年	1	1
平成 20 年	1	0
平成 21 年	0	0
平成 22 年	2	2
平成 23 年	1	0

住宅用火災警報器奏功事例

惨劇を救った「住警器」!

実録! 体験談

平成 23 年中

住宅用火災警報器により火災に至らなかった件数	2 件
住宅用火災警報器により火災の被害が軽減した件数	3 件

天ぷら鍋で料理をしている最中に来客があり、玄関先で話をしていました。

すると警報器の音が家の中から聞こえ、台所に行ってみると、天ぷら鍋から炎が火柱のように上がり、煙が充満していました。

もう少し気付くのが遅ければ私の家が燃えていたかもしれません…(津南町 60 代女性)



平成 23 年火

市町別	火災件数				
	計	建物	林野	車両	その他
十日町市	23	14	2	1	6
十日町地域	10	9			1
川西地域	6	1	2		3
中里地域	3	2			1
松代地域	2	1			1
松之山地域	2	1		1	
津南町	5	3		1	1
合計	28 (24)	17 (12)	2 (3)	2 (0)	7 (9)

月別火災発生状況

1月	■ ■ ■ ■ ■	3件
2月	■ ■ ■ ■	1件
3月	■ ■ ■ ■ ■	2件
4月	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	4件
5月	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	6件
6月		0件
7月	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	3件
8月	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	4件
9月	■ ■ ■ ■ ■	2件
10月		0件
11月		0件
12月	■ ■ ■ ■ ■	3件

「火の用心」を
 お願いいたします

本年も

原因別火災発生状況

原因	件数
たき火・火入れ	5
こんろ	3
たばこ	2
ストーブ	2
かまど	1
電気装置	1
電灯等配線	1
溶接機・切断機	1
放火	1
放火の疑い	1
その他	2
不明・調査中	8

十日町市・津南町火災発生状況

松代地域

建物 林野 車両 その他
 1 1

面積 88.32 km²
 人口 3,621 人
 世帯 2,355 世帯

松之山地域

建物 林野 車両 その他
 1 1

面積 86.31 km²
 人口 2,422 人
 世帯 954 世帯

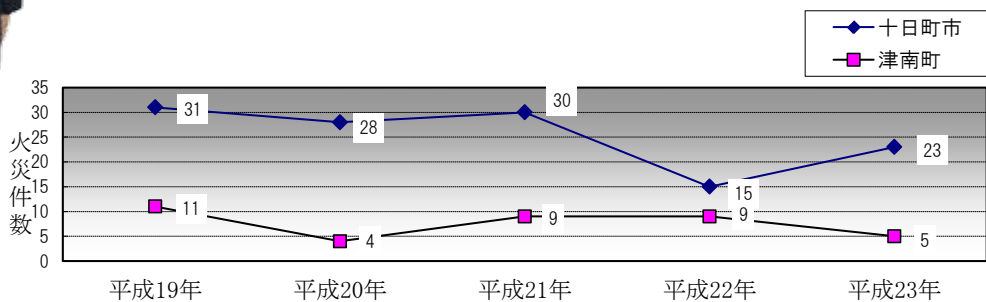
津南町

建物 林野 車両 その他
 3 1 1

面積 170.28 km²
 人口 11,032 人
 世帯 3,640 世帯



過去5ヶ年火災件数推移



市町別	火災件数平均
十日町市	25.4
津南町	7.6
合計	33.0



2021

データで見る 十日町地域消防



予防課長
藤田直司

警防課長
関谷嘉聖

消防署長
高橋隆之

本部長
(総務課長)
山田秀和

救助 Rescue

平成23年度 十日町市防災訓練
松代総合グラウンドにて



平成23年の十日町市・津南町の救助出動を含む災害出動件数は445件で、前年と比較して193件増となりました。救助出動の種別を見ると、その他出動が416件と多くなっています。これは、年明けの豪雪や、3月12日に発生した長野県北部地震、7月29日十日町市において県内観測史上最高（1時間降雨水量121ミリ）を記録した新潟・福島豪雨が発生したことによるものです。

猛威を振るった 自然災害



平成23年豪雪：火の見除雪の様子

（）内の数は平成22年の数値

種別	火災	交通事故	水難	捜索	その他	計
市町別						
十日町市	0	20	1	3	338	362
津南町	0	5	0	0	78	83
合計	0 (0)	25 (28)	1 (3)	3 (23)	416 (198)	445 (252)

その他には「自然災害」「機械事故」「警戒」、「調査」、「救急支援」が含まれます。



長野県北部地震：津南町辰ノ口土砂災害



平成23年新潟・福島豪雨：十日町市川原町水害

救急車の出動は 一日平均7.2件!

平成23年中の十日町市・津南町の救急出動状況は下表のとおりで、6年連続の増加となっております。搬送人員の約6割が65歳以上の高齢者であり、地域社会の高齢化を背景に今後も増加が予想されます。また、緊急を要しない軽症者の搬送が全体の3割を占めています。本当に必要な人のために救急車の適正利用をお願いします。

重症患者への対応として、救急救命士の処置拡大や市民によるAEDの使用により、心拍が再開し社会復帰する例も出ています。

今年10月からは「新潟県ドクターヘリ」の運航が開始されます。当地域で現在運用している「スポット型ドクターカー」と併せ、成果が期待されます。

※スポット型ドクターカーとは119番通報時に緊急度・重症度が高いと判断された場合、救急隊とは別の車両で十日町病院医師を現場に派遣するもので、平成21年1月より運用を開始しています。



その他には「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」が含まれます。管轄外の出動は長野県栄村秋山地区への出動

平成23年救急出動状況

() 内の数は平成22年の数値

種別	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
市町別						
十日町市	1,187	190	389	296	133	2,195
十日町地域	738	127	229	221	91	1,406
川西地域	153	19	53	21	12	258
中里地域	125	16	32	9	12	194
松代地域	65	15	37	37	9	163
松之山地域	106	13	38	8	9	174
津南町	220	30	73	75	13	411
管轄外	10	2	4	0	1	17
合計	1,417 (1,415)	222 (221)	466 (441)	371 (395)	147 (132)	2,623 (2,604)

救命のリレー



119 応急手当 AED 応急処置 救命医療

■ バイスタンダー応急手当実施者数

	心肺停止 傷病者数	バイスタンダー 応急手当実施数	割合
平成23年	123	63	51%
過去5ヶ年平均	555	242	44%

■ 119番通報から救急車が到着するまでの時間

平成23年中 平均 9分30秒



講習会の様子

普通救命講習会を 受講しましょう!

救命率向上にはバイスタンダーの応急手当が必要不可欠です。十日町地域消防本部は、十日町地域メデイカルコントロール協議会と連携しAED取り扱いを含む普通救命講習会を定期的に開催しています。

十日町市・津南町では、既に11,349名、地域人口の16%の人が受講しました。

「救える命」を救うため、ぜひ講習会に参加して心肺蘇生法を身につけましょう。

※バイスタンダーとは救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者など）のことです。救急車が到着するまでの間に、心肺蘇生法などの応急手当が救命率を大きく左右します。



累計受講者数11,349人
人口の16%受講、目標は25%!

予防 「ひまわり隊」 園児に火の用心

津南町消防団女性部「ひまわり隊」は、秋季火災予防運動期間中、町内7か所の保育園を訪問し、防災紙芝居で防火をPRしました。園児たちは目を輝かせながら熱心に入っていました。

麻績明子部長は「幼少期から防火に関する理解を深めてもらうために、タンバリンや人形を使い、園児の興味を引き付ける工夫をしました。これからもいろいろな活動を通して、防火の必要性を伝えていきたいと思っています。今回ご協力していただいた保育園の皆さんに感謝します。」と笑顔で語りました。



中津保育園の園児たち

消防員 出初式で 消防団員意見発表



吉楽一馬団員

1月8日(日)に開催された十日町市消防出初式で、消防団員意見発表が行われました。初回となった今回は、十日町市消防団中里方面隊第4分団の吉楽一馬団員(33歳)が、「消防さんまい、明けても暮れても操法につきた1年間」というテーマで意見発表をしました。

吉楽団員は、昨行われた第62回新潟県消防大会ポンプ操法競技会小型ポンプ操法の部で優勝したチームの指揮者で、大会までの厳しい訓練の日々や大会当日の様子を発表しました。

その中で、「ポンプ操法は、火災消火を想定した基本動作の訓練で、消防団活動の基本であり、原点である。」として、「訓練に明け暮れた1年間に凝縮された貴重な経験を、今後の消防団活動に生かし、地域社会に貢献できる人間を目指したい。」と熱く語りました。

表彰 十日町市消防団と 十日町地域消防本部に大臣表彰

十日町市消防団は、平成23年新潟・福島豪雨に際し、住民の避難誘導、河川の氾濫警戒、土砂崩れ現場における土のう積みなどの水防活動の功績により、国土交通大臣表彰を受賞しました。

また、消防本部は、東日本大震災において、緊急消防援助隊を宮城県石巻市へ延べ4隊17人を派遣し、現場での救急救助活動などの功績により、総務大臣表彰を受賞しました。



(右) 山田真一消防長
(左) 富井利明消防団長

防火 訓練用消火器と 広報 鼓笛隊マーチングセットを贈呈

(財)自治総合センターの平成23年度コミュニティ助成事業(宝くじの普及広報)を活用し、防火防災訓練用資器材(訓練用消火器)と幼年消防用活動資器材(マーチングセット)を購入しました。

訓練用消火器は、水沢女性防火クラブに贈呈し、水沢地区内での防災訓練などに使用し、地域の安全安心なまちづくりに活用されます。

マーチングセットは、北越保育園幼年消防クラブに贈呈し、消防ひろばや園の行事などで防火防災の啓発活動に活用します。

(右上) 贈呈された消火器で指導する水沢女性防火クラブ櫻澤会長
(右) 宝くじ助成事業マスコットの「クーちゃん」
(下) 消防ひろばでマーチングを披露する北越保育園幼年消防クラブ



赤色灯

年末はテレビ各局で東日本大震災の特集番組が放送されています。当地域にも大きな爪痕を残した長野県北部地震。降雪が落ち着いていた時期の地震でしたが、1ヶ月前に発生していたら、積雪による家屋倒壊、雪崩による交通寸断、避難所での寒さなど豪雪地域での被害を考えるとゾッとします。今年こそは大きな災害がないことを願っています。

今号の「火の用心」が平成23年度最終号となります。今後も職員による「手作り広報紙」をよろしくお願ひします。(啓)